

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌AC

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 エンドキサン(CPA)	600mg/m ²	点静	30	↓																													
2 ドキソルピシン(ADM)	60mg/m ²	点静	全開	↓																													
3																																	
4																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																													
	デキサメタゾン	9.9mg	点静	↓																													
投与日程																																	
副作用																																	
	1クール期間	21日	クール回数	※ドキソルピシンは総投与量500mg/m ² まで																													
	休薬期間																																
	☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																														
	☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 骨髄抑制のある場合で、day1で好中球1500以下の時は延期。 嘔気対策としては5HT ₃ 拮抗剤、デキサメタゾンの前投薬で対処。脱毛にはかつらの用意。																														
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄障害																														

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌AC

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 ドキソルピシン(ADM)	60mg/m ²	点静	全開	↓																												
2 エンドキサン(CPA)	600mg/m ²	点静	30	↓																												
3																																
4																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																												
	デキサメタゾン	9.9mg	点静	↓																												
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	21日	クール回数		※ドキソルピシンは総投与量500mg/m ² まで																												
休薬期間																																
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																														
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 骨髄抑制のある場合で、day1で好中球1500以下の時は延期。 嘔気対策としては5HT ₃ 拮抗剤、デキサメタゾンの前投薬で対処。脱毛にはかつらの用意。																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄障害																														

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌EC

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 エンドキサン(CPA)	600mg/m ²	点静	30	↓																															
2 エピルビシン塩酸塩(EPI)	80mg/m ²	点静	全開	↓																															
3																																			
4																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 9.9mg	点静 点静	↓ ↓																															
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	21日	クール回数	術前・術後:4回																																
休薬期間		再発進行癌:エピルビシン総投与量	900~1000mg/m ² 程度まで																																
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害(エピルビシン総投与量800mg/m ² を超えたら心機能検査施行), 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																																	
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時, G-CSF投与 骨髄抑制のある場合は, 投与延期など。 嘔気対策としては5HT ₃ 拮抗剤, デキサメタゾンの前投薬で対処。脱毛にはかつらの用意。																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄障害																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌FEC80

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr =

担当医	

	薬剤 （商品名, 一般名）	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	1 5-FU	500mg/m ²	点静	15	↓																														
	2 エピルピシン塩酸塩 (EPI)	80mg/m ²	点静	全開	↓																														
	3 エンドキサン (CPA)	500mg/m ²	点静	30	↓																														
	4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																														
	デキサメタゾン	9.9mg	点静		↓																														
投与日程																																			
副作用																																			
	1クール期間	21日	クール回数	※	※通常8～10回をめどに施行し、最大10クールまで。 （エピルピシンは総投与量900mg/m ² を超えるとうつ血性心不全等の心障害リスクが上昇）																														
	休薬期間																																		
	☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害, 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																																
	☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾンの前投薬、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用。																																
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌FEC100

（対象疾病＝ ）

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 5-FU	500mg/m ²	点静	15	↓																														
2 エピルピシン塩酸塩(EPI)	100mg/m ²	点静	全開	↓																														
3 エンドキサン(CPA)	500mg/m ²	点静	30	↓																														
4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 9.9mg 点静		↓ ↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	21日	クール回数	※	※通常6～8回をめどに施行し、最大10クールまで。 (エピルピシンは総投与量900mg/m ² を超えるとうっ血性心不全等の心障害リスクが上昇)																														
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害, 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																																
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾンの前投薬、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌Weekly PTX

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 点静	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 パクリタキセル (PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																														
2																																		
3																																		
4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																														
	ファモチジン	20mg	点静	↓																														
	ポララミン	5mg	点静	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
	1クール期間	28日	クール回数																															
	休薬期間																																	
	☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など), 末梢神経障害, 爪の脱落																															
	☆副作用対策		・デキサメタゾンなどの使用 ・手袋、靴下の使用																															
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	爪の脱落																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌3週毎DOC

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医

--	--

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ドセタキセル(DOC)	70mg/m ²	点静	60	↓																																	
2																																					
3																																					
4																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 8.25mg 点静		↓ ↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
	1クール期間	21日	クール回数 ※	※アジュバント時は8回																																	
	休薬期間																																				
	☆予想される重篤副作用		白血球減少, 血小板減少																																		
	☆副作用対策		・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																																		
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌HER[毎週]

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 ハーセプチン(HER) 《1クール目》	4mg/kg	点静	90	↓																															
前投薬																																			
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間 休薬期間	7日	クール回数	1																																
☆予想される 重篤副作用		心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction																																	
☆副作用対策		<ul style="list-style-type: none"> ・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《2クール目以降》乳癌HER[毎週]

（対象疾病＝ ）

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 点静	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30												
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																									
前投薬																																													
投与日程																																													
副作用																																													
1クール期間 休薬期間	7日	クール回数																																											
☆予想される 重篤副作用		心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction																																											
☆副作用対策		・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。																																											
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																												

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《1クール目》乳癌HER[3週毎]

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ハーセプチン(HER) 《1クール目》	8mg/kg※	点静	90	↓																														
前投薬																																		
投与日程																																		
副作用																																		

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1※
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF製剤投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF製剤投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	白血球<2000 (Seg<1000) 強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌HER[3週毎]

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医	

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注 点静	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1	ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg※	点静	30	↓																																	
前投薬																																						
投与日程																																						
副作用																																						

※投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される 重篤副作用		心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF製剤投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF製剤投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	白血球<2000 (Seg<1000) 強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》乳癌3週毎HER+3週毎DOC

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医 _____

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※	点静	90	↓																															
2 ドセタキセル(DOC)	70mg/m ²	点静	60	↓																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静		↓																															
投与日程																																			
副作用																																			

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。

なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		白血球減少、血小板減少(タキソテール) 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン)	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《2クール目以降》乳癌3週毎HER+3週毎DOC

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg	点静	30	↓																														
2 ドセタキセル(DOC)	70mg/m ²	点静	60	↓																														
前投薬																																		
5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 8.25mg	点静 点静		↓ ↓																														
投与日程																																		
副作用																																		

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。

なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		白血球減少、血小板減少(タキソテール) 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン)	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌HER+WeeklyPTX

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																														
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																															
2 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																														
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																														
	ファモチジン	20mg	点静	↓																														
	ポララミン	5mg	点静	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	28日	クール回数	1																															
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		ハーセプチン=心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction パクリタキセル=白血球減少, アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など), 末梢神経障害																																
☆副作用対策		・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 ・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌HER+WeeklyPTX

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																
2 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																																
前投薬				↓																																
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																
ファモチジン	20mg	点静		↓																																
ポララミン	5mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	28日	クール回数																																		
休薬期間																																				
☆予想される重篤副作用			ハーセプチン=心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction パクリタキセル=白血球減少, アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など), 末梢神経障害																																	
☆副作用対策			・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 ・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=乳癌VNR

(対象疾病=)

身長= _____ cm
体重= _____ kg
体表面積= _____ m²
Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ナベルピン(VNR) 生食 50mL	25mg/m ²	点静	10min以内	↓																		休												
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン 生食	1A 6.6mg 250mL	点静 点静 点静		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																								
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間 休薬期間	21日	クール回数																																
☆予想される 重篤副作用		白血球減少、好中球減少																																
☆副作用対策		デキサメタゾン、5-HT ₃ 拮抗薬の使用。G-CSF使用。 * 静脈炎(特徴的副作用) → 出来るだけ太い静脈から10分以内で投与。その後補液で洗い流す。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC減少。																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌HER+VNR

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																														
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																															
2 ナベルピン(VNR)	25mg/m ²	点静	10min以内	↓																														
生食 50mL																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 6.6mg 点静		↓ ↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	21日	クール回数	1																															
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用	ハーセプチン ナベルピン	心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction 白血球減少, 好中球減少																																
☆副作用対策	ハーセプチン ナベルピン	・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 デキサメタゾン, 5-HT ₃ 拮抗薬の使用。G-CSF使用。 * 静脈炎(特徴的副作用)→出来るだけ太い静脈から10分以内で投与。その後補液で洗い流す。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌HER+VNR

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																		
2 ナベルピン(VNR) 生食 50mL	25mg/m ²	点静	10min以内	↓																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 6.6mg 点静		↓ ↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	21日	クール回数																																				
休薬期間																																						
☆予想される重篤副作用	ハーセプチン ナベルピン	心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction 白血球減少, 好中球減少																																				
☆副作用対策	ハーセプチン ナベルピン	・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 デキサメタゾン, 5-HT ₃ 拮抗薬の使用。G-CSF使用。 * 静脈炎(特徴的副作用)→出来るだけ太い静脈から10分以内で投与。その後補液で洗い流す。																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																					

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌DOC+CPA

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 ドセタキセル(DOC)	75mg/m ²	点静	60	↓																													
2 エンドキサン(CPA)	600mg/m ²	点静	30	↓																													
3																																	
4																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 9.9mg	点静 点静	↓ ↓																													
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	21日	クール回数																															
休薬期間																																	
☆予想される重篤副作用			骨髄抑制、出血性膀胱炎、下痢、嘔気・嘔吐、脱毛、浮腫、関節痛、筋肉痛																														
☆副作用対策			骨髄抑制出現時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾン、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄障害																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌GEM

（対象疾病＝ _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ゲムシタビン(GEM)	1,250mg/m ²	点静	30	↓																														
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン ファモチジン	1A 6.6mg 20mg	点静 点静 点静		↓ ↓ ↓							↓																							
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	21日	クール回数																																
休薬期間																																		
☆予想される 重篤副作用		白血球減少、貧血、骨髄抑制																																
☆副作用対策		Gradeの高い副作用出現時、次回より2割減量																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制など																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》乳癌HER+GEM

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ゲムシタビン(GEM)	1,200mg/m ²	点静	30	↓																																
2 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																																
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																																	
前投薬																																				
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																
ファモチジン	20mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	21日	クール回数	1																																	
休薬期間																																				
☆予想される 重篤副作用				白血球減少、貧血、骨髄抑制 心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction																																
☆副作用対策				Gradeの高い副作用出現時、次回より2割減量 開始前心エコーでEF50%以上 初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他				重篤な骨髄抑制など																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌HER+GEM

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 ゲムシタビン(GEM)	1,200mg/m ²	点静	30	↓																																		
2 ハーセプチン(HER)	2mg/kg	点静	30	↓																																		
《2クール目以降》																																						
前投薬																																						
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																		
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																		
ファモチジン	20mg	点静		↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	21日	クール回数																																				
休薬期間																																						
☆予想される重篤副作用		白血球減少、貧血、骨髄抑制 心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction																																				
☆副作用対策		Gradeの高い副作用出現時、次回より2割減量 開始前心エコーでEF50%以上 初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制など																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌BEV+Weekly PTX

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 アバスタチン(BEV)	10mg/kg	点静	30~90※	↓																																		
2 パクリタキセル(PTX)	90mg/m ²	点静	60	↓													↓																					
3																																						
4																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓													↓																					
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓													↓																					
	ファモチジン	20mg	点静	↓													↓																					
	ポララミン	5mg	点静	↓													↓																					
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	28日	クール回数		※アバスタチンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																																		
休薬期間																																						
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など)、末梢神経障害、爪の脱落 高血圧、たんぱく尿、出血、血栓塞栓、創傷治癒遅延、消化管穿孔、など																																				
☆副作用対策		・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・手袋、靴下の使用																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	蛋白尿:Grade2,3で休薬 Grade4で中止、出血:Grade3以上で中止																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌エリブリン

（対象疾病＝_____）

身長＝_____ cm
体重＝_____ kg
体表面積＝_____ m²
Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》_____年____月____日

今回〔_____〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2～5	↓																																		
2 -----																																						
3 -----																																						
4 -----																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	21日	クール回数																																				
休薬期間																																						
☆予想される重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎																																				
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²)																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《1クール目》乳癌HER+エリブリン

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ cm

体重＝ kg

体表面積＝ m²

Ccr ＝

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2～5	↓																														
2 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																														
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	21日	クール回数	1																															
休薬期間																																		
☆予想される 重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction																																
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌HER+エリブリン

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2~5	↓																																			
2 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																			
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							
1クール期間	21日	クール回数																																					
休薬期間																																							
☆予想される 重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction																																					
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。																																					
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000																																					

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《1クール目》乳癌3週毎HER+エリブリン

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2～5	↓																																
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※	点静	90	↓																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction	
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《2クール目以降》乳癌3週毎HER+エリブリン

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2～5	↓																																
2 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg※	点静	30	↓																																
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction	
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=乳癌CMF

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 エンドキサン(CPA)	100mg/body	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																			
2 メントレキセート(MTX)	40mg/m ²	点静	30	↓							↓																							
3 5-FU	600mg/m ²	点静	15	↓							↓																							
4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓							↓																							
	デキサメタゾン	8.25mg	点静	↓							↓																							
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	28日	クール回数	6※	※アジュバント時																														
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		脱毛、嘔気、白血球減少、口内炎																																
☆副作用対策		白血球1,000以下、好中球500以下の時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾンの前投薬、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》乳癌PER+3週毎HER

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 パーージェタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																																		
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※2	点静	90	↓																																		
前投薬																																						
投与日程																																						
副作用																																						

※1: 2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

※2: 2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。

なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌PER+3週毎HER

（対象疾病= _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医

--	--

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 パーージェタ(PER)《2投目以降》	420mg※1	点静	30	↓																																
2 ハーセプチン(HER)《2投目以降》	6mg/kg※2	点静	30	↓																																
前投薬																																				
投与日程																																				
副作用																																				

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2:2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》乳癌PER+HER

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 パージェタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																														
2 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																														
ハーセプチン《2回目以降》	2mg/kg	点静	30																															
前投薬																																		
投与日程																																		
副作用																																		

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上；初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与；好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与；抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌PER+HER

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 パーージェタ(PER)《2投目以降》	420mg※1	点静	30	↓																																
2 ハーセプチン(HER)《2投目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																
前投薬																																				
投与日程																																				
副作用																																				

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用			発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction
☆副作用対策			開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他		強いアレルギー反応の出現

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌PER+3週毎HER+3週毎DOC

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																					
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30								
1 パージェタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																																					
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※2	点静	90	↓																																					
3 ドセタキセル(DOC)	70mg/m ²	点静	60	↓																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 8.25mg 点静		↓ ↓																																					
投与日程																																									
副作用																																									

※1: 2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2: 2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1	
休薬期間				
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 急性腎不全などの重い腎機能障害、末梢神経炎(手足のしびれ)、酔い状態(タキソールの無水エタノール溶媒のため)		
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌PER+3週毎HER+3週毎DOC

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回[]クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 パージェタ(PER)《2クール目以降》	420mg※1	点静	30	↓																													
2 ハーセプチン(HER)《2クール目以降》	6mg/kg※2	点静	30	↓																													
3 ドセタキセル(DOC)	70mg/m ²	点静	60	↓																													
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 8.25mg 点静		↓ ↓																													
投与日程																																	
副作用																																	

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2:2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 急性腎不全などの重い腎機能障害、末梢神経炎(手足のしびれ)、酔い状態(タキソールの無水エタノール溶媒のため)	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上;初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与;好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与;抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》乳癌PER+HER+WeeklyPTX

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 パーージェタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																																
2 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																																
ハーセプチン《2回目以降》	2mg/kg	点静	30																																	
3 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																
	ポララミン	5mg	点静	↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

1クール期間	28日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など)、末梢神経障害	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 デキサメタゾン、ポララミンの投与 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌PER+HER+WeeklyPTX

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 パーージェタ(PER)《2クール目以降》	420mg※1	点静	30	↓																												
2 ハーセプチン(HER)《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓													↓						↓									
3 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓													↓						x									
前投薬																																
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																												
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																												
ファモチジン	20mg	点静		↓																												
ポララミン	5mg	点静		↓																												
投与日程																																
副作用																																

※1: 2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

1クール期間	28日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など)、末梢神経障害	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 デキサメタゾン、ポララミンの投与 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《1クール目》乳癌PER+3週毎HER+VNR

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 パーシエタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																																				
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※2	点静	90	↓																																				
3 ナベルピン(VNR) 生食 50mL	25mg/m ²	点静	10min以内	↓																																				
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 6.6mg	点静 点静		↓ ↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2:2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 好中球減少症、静脈炎	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上；初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与；好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与；抗生剤の内服 ナベルピン：できるだけ太い静脈から投与。その後補液で洗い流す。	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌PER+3週毎HER+VNR

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 パージェタ(PER)《2投目以降》	420mg※1	点静	30	↓																																		
2 ハーセプチン(HER)《2投目以降》	6mg/kg※2	点静	30	↓																																		
3 ナベルピン(VNR) 生食 50mL	25mg/m ²	点静	10min以内	↓													×																					
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 6.6mg	点静 点静		↓ ↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2:2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 好中球減少症、静脈炎	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上；初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与；好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与；抗生剤の内服 ナベルピン:できるだけ太い静脈から投与。その後補液で洗い流す。	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌PER+3週毎HER+エリブリン

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 パーシエタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																																	
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※2	点静	90	↓																																	
3 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2~5	↓																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 1A	点静		↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2:2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 好中球減少症、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²)	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000 強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌PER+3週毎HER+エリブリン

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 パーージェタ(PER)《2投目以降》	420mg※1	点静	30	↓																													
2 ハーセプチン(HER)《2投目以降》	6mg/kg※2	点静	30	↓																													
3 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2~5	↓														x															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																													
投与日程																																	
副作用																																	

※1: 2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2: 2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 好中球減少症、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²)	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000 強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=乳癌T-DM1

(対象疾病=)

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 カドサイラ(T-DM1)	3.6mg/kg	点静	90	↓																																
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

※カドサイラ: 副作用により休薬、減量、または中止する場合には副作用の症状、重症度に応じて、1段階減量: 3.0mg/kg、2段階減量: 2.4mg/kg、3段階減量: 投与中止
 ※インラインフィルター使用。
 ※初回投与時は90分かけて投与すること。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		血小板減少症・重度の出血、肝機能障害・肝不全、末梢神経障害、過敏症・Infusion reaction、間質性肺疾患、心障害。	
☆副作用対策		血小板減少症及び肝機能障害(AST(GOT)増加、ALT(GPT)増加、血中ビリルビン増加等): 各投与前及びサイクル1のDay8付近で血小板数及び肝機能検査の測定を行う。	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌Weekly nab-PTX+アテゾリズマブ

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 テセントリク(アテゾリズマブ)	840mg/body	点静	60※	↓																																	
2 アブラキサン(nab-PTX)	100mg/m ²	点静	30	↓													↓																				
3																																					
4																																					
前投薬																																					
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																	
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	28日	クール回数		※初回投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																																	
休薬期間																																					
☆予想される重篤副作用		テセントリク:間質性肺疾患、大腸炎、肝機能障害、腎機能障害、内分泌障害、infusion reaction等 適宜レントゲン撮影・CT検査の実施																																			
☆副作用対策		対症療法、減量、休薬、infusion reactionの対策は適正使用ガイド(テセントリク)参照																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	PSの低下、高Gradeの副作用 減量基準: SEG<500または<1500のため7日間以上延期した場合、FN、PLT<50000 各コースの開始基準: day1; SEG≥1500、PLT≥100000、day8、15; SEG≥1000、PLT≥75000																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌CAP+HER

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注 点静 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																													
2 ゼローダ(CAP):A法	1,650mg/m ² ★	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓									
体表面積																																	
★ゼロータ 1.31m未満	900mg × 2回/日																																
1.31~1.64m未満	1,200mg × 2回/日																																
1.64m以上	1,500mg × 2回/日																																
前投薬																																	
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	28日	クール回数																															
休薬期間																																	
☆予想される重篤副作用	ハーセプチン ゼロータ	心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction 手足症候群(hand-foot syndrome)																															
☆副作用対策	ハーセプチン ゼロータ	・心機能評価(心エコー、MUGAスキャン) ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 手足症候群対策:保湿クリーム(1日5回)、ビタミンB6(60mg/day連日投与)、減量、休薬																															
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌CAP+VNR

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr ＝

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 ゼローダ(CAP):A法 2 ナベルピン(VNR) 生食 50mL 体表面積 ★ゼローダ 1.31m ² 未満 1.31～1.64m ² 未満 1.64m ² 以上	1,650mg/m ² * 25mg/m ² 900mg×2回/日 1,200mg×2回/日 1,500mg×2回/日	経口 点静	10min以内	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン 生食	1A 6.6mg 250mL	点静 点静 点静	60	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
投与日程																								
副作用																								
1クール期間	21日	クール回数																						
休薬期間																								
☆予想される 重篤副作用	ナベルピン ゼローダ	骨髄抑制(白血球・好中球)、静脈炎 手足症候群(hand-foot syndrome)、肝障害																						
☆副作用対策	ナベルピン	* 静脈炎(特徴的副作用)→出来るだけ太い静脈から10分以内で投与。その後補液で洗い流す。																						
	ゼローダ	手足症候群対策:保湿クリーム(1日5回)、ビタミンB6(60mg/day連日投与)、減量、休薬																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																							

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 骨転移癌ゾメタ(ゾレドロン酸)

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

--	--

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ゾメタ(ゾレドロン水和物)	4mg/body	点静	30	↓																																	
2 (腎機能低下時はCcrに応じて減量)																																					
3																																					
Ccr(mL/min)	>60	50-60	40-49	30-39																																	
推奨用量(mg/body)	4	3.5	3.3	3																																	
投与日程																																					
副作用前投薬																																					
1クール期間	※	クール回数	制限なし	※固形癌骨転移による骨病変: 3~4週間間隔																																	
休薬期間																																					
☆予想される重篤副作用		急性腎不全、心不全、顎骨壊死、低カルシウム血症																																			
☆副作用対策		薬剤投与中止、対症療法																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	臨床症状にて判断																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌リュープリン

（対象疾病＝_____）

《初回開始日》_____年 月 日
 今回〔 _____〕クール目

身長＝_____cm
 体重＝_____kg
 体表面積＝_____m²
 Ccr ＝_____

担当医	

薬剤 （商品名，一般名）	1日投与量 （/m ² or /kg）	投与法 点静・静注	投与時間 （min）	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 リュープリン(リュープリリン酢酸塩) ★注射用SR 11.25 注射用 3.75	★ 11.25mg/body 3.75mg/body	皮下 12週毎 4週毎	↓																																	
投与日程																																				
副作用 前投薬																																				
1クール期間		クール回数																																		
休薬期間																																				
☆予想される 重篤副作用		アレルギー反応、発汗、ほてり、皮膚障害、注射部位障害（注射部位硬結など）																																		
☆副作用対策		注射部位を毎回変更する、注射部位をもまない																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																			